

平成30年度

市政に関する所信表明

富良野市長 北 猛 俊

市政に関する所信表明

本日ここに、平成30年第2回富良野市議会定例会の開会にあたり、今後の市政運営に対する私の所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は4月22日に行われました市長選挙におきまして、有権者の厳粛なる信託を受け、第5代富良野市長として市政を担うことになりました。

ご支援とご協力に改めて感謝申し上げますとともに、果たすべき職責の重さを認識し、市民の皆さまのご期待に応えるため、市政運営に全力で取り組んでまいります。

富良野市は、盆地や山間の中にあって多様な生活や文化が育まれ、さまざまな暮らしと環境が織りなす多様性に富んだ地域の集合体であり、地域の持つ多様な個性・環境・資源を大切にしながら、将来に希望の持てるまちづくりを進めていかなければなりません。

人口減少や少子高齢化、働き手不足や鉄路の見直し問題など市政の課題は山積し、限られた財源の中で、的確な政策選択と安定した市政運営が求められております。

私の市政に臨む基本姿勢は、「すべての市民が健康で生きがいを感じ、安全で安心して暮らし、幸せが実感できるまちづくり」であり、公民連携による市民が主役のまちづくりにまい進してまいりたいと考えております。

ここで、本市の将来を展望するうえで、早急に取り組まなければならない喫緊の課題について、私の考えを述べたいと存じます。

一つ目は、鉄路の見直し問題についてであります。

J R北海道は平成 28 年 11 月、「当社単独では維持することが困難な線区」として 10 路線 13 線区を発表し、その中には根室線と富良野線が含まれております。

鉄路は、通学や通院の移動手段として地域住民の生活の足を支えるとともに、農作物の貨物輸送や観光による地域経済の活性化を進める

上においても、北海道の将来に関わる極めて重要な社会資本であります。

国は、「北海道庁やＪＲ北海道と密接に連携し、夏ごろまでに大まかな方向性について取りまとめてまいりたい」との考えを示しており、北海道においては、３月に策定した北海道交通政策総合指針にもとづき、それぞれの線区の特性を踏まえた地域における検討・協議を進めていくとしております。

鉄路の見直し問題については、ＪＲ北海道の徹底した経営努力を前提に、国の実効ある支援が必要であることから、本市としても関係市町村や団体と連携・協力しながら、鉄路の維持・存続に向けて全力で取り組む考えであります。

二つ目は、庁舎等の建て替えについてであります。

現庁舎は、建設後 48 年が経過し、施設の老朽化が目立ち耐震性も欠いており、市民の利便性に多くの課題を抱えております。また、文化会館についても建設後 46 年が経過し同様の状況にあります。

新たな庁舎は、市民参加のもと市民が利用しやすく、人や環境にやさしく、さらに、文化会館機能を複合化することで経費節減を図り、機能性・効率性・経済性の重視とともに、防災拠点として災害に強い庁舎へ建て替えるための具体化を進めてまいります。

なお、国は耐震化未実施の庁舎建て替えについて、緊急性があるとの判断から、「市町村役場機能緊急保全事業」を創設し、平成 32 年度までの早期に実施する事業に対して財政支援を行なうこととしております。

第 5 次富良野市総合計画は、「安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』」を将来像に掲げ、平成 32 年度までの計画的なまちづくりを進めております。総合計画の 5 つの基本目標について、私の基本的な考えを述べさせていただきます。

基本目標1 次代を担う子どもたちをみんなで育むまちづくり

核家族化の進行とともに、家庭における子育てや教育力、老後の介護など家族が本来有している機能が低下していると言われております。子どもの人間形成の原点は家庭にあるとの認識から、「家庭力」の向上に努めてまいります。

結婚から妊娠・出産・子育て・保育・教育と、子どもに関わる行政サービスを公平に提供するとともに、包括的で切れ目のない子育て・教育環境を整え、「子育てするなら富良野市で」と発信できるまちづくりをめざしてまいります。

乳幼児やその保護者が気軽に交流や情報交換ができる子育て支援機能を充実するとともに、乳幼児医療費の助成をはじめ、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

安心して出産・子育てができる環境づくりのために、地域センター病院の産科医療体制の維持に向けて支援するとともに、母性や乳幼児に対する保健指導、健康診査を進めてまいります。

基本目標2 やさしさと生きがいを実感できるまちづくり

地域の防災、防犯、環境保全など、身近な地域特有の課題に対して、人や地域のつながりを強め、支え合いによって地域の課題を解決する「地域力」の向上に努めてまいります。

物の豊かさから心の豊かさが重視される中、知恵を生み出す「文化力」が地域の活力を生み出すことから、地域が持つ産業や民俗芸能、演劇や音楽などの文化資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、人を引きつけるソフトパワーとして「文化力」の醸成を図り、想像力あふれるまちづくりをめざしてまいります。

また、元気で長寿のまちをめざし、シニア世代の地域活動やサークル活動、高齢者の居場所と出番をつくる就労事業の運営を支援してまいります。

さらに、地域センター病院や富良野医師会、富良野圏域町村と連携を図り、地域医療を担う人材確保に向けて全力で取り組むとともに、健康づくりの充実とスポーツ振興に努めてまいります。

基本目標3 人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり

あらゆる世代が緑豊かな美しい自然環境を大切に想い、守り、住み続けたいと愛着や誇りを持ってこのまちが一番と感じ、生涯にわたって健康な生活が送れるまちづくりをめざしてまいります。

次世代に引き継ぐ低炭素社会、自然共生社会への変革と豊かさが実感できる生活を両立させるため、環境と経済の好循環が育まれるまちづくりに努めてまいります。

住環境の向上に向けて、住宅の耐震改修や住宅リフォームに対する支援を行ない、空家の適正な管理を所有者へ促すとともに、まちなか居住の促進を図ってまいります。

市道や橋梁、公園や上下水道などの社会インフラは、総合計画にもとづく計画的な整備を図り、安全な生活環境づくりを推進してまいります。

近年の集中豪雨に対する防災・減災対策としては、計画的な排水整備や内水氾濫に対する排水機器の配備を進め、国や道管理河川の改修や適正管理に向けて要請してまいります。

地域高規格道路旭川十勝道路「富良野道路」8.3kmが平成30年度中の開通を予定しており、引き続き全線120kmの早期完成に向けて関係機関へ要請してまいります。

基本目標4 地域の魅力ある産業を活かしたまちづくり

農林業は基幹産業として活性化を図り、観光業はさまざまなニーズに対応する豊かな産業として育成し、環境に負荷を与えない社会をめざしてまいります。

農業の担い手確保と人材育成に取り組み、法人化などによる経営体の強化を図り、ロボット技術や情報通信技術を活用したスマート農業を促進するとともに、土地改良基盤整備事業による作業の効率性と生産性を高め、農業所得の向上に努めてまいります。

また、魅力ある観光資源の発掘や磨き上げを行うとともに、国際観光の拡大などグローバルに人やモノの動きが活発化する中で、ネットワークを活用した提案型の情報発信に努め、地域連携DMOの登録法人である「ふらの観光協会」や、「(仮称) 富良野まちづくり戦略会議」と連携し、観光振興を図ってまいります。

さらに、中心市街地はまちの顔であり、コミュニケーションを存続させる生活基盤として、子どもからお年寄りまで日常的に集い交流する憩いのエリアとしてにぎわいを創出し、まちなか回遊の促進を図ってまいります。

ワイン事業では、原料用ぶどう確保に向けた支援とぶどう植栽者の確保に努めるとともに、引き続き安全で高品質な製品づくりに取り組んでまいります。

また、魅力ある雇用環境の整備を進め、安定した雇用を生み出すとともに、人材育成に向けて十分な能力開発の機会を確保し、若者の地元事業所への就業支援や労働力不足の対策に努めてまいります。

基本目標5 市民と地域、行政が協働して築くまちづくり

市民の価値観やライフスタイルがさまざまに変化し、課題も多様化する中で、地域・NPO・企業・学校などさまざまな主体が協働して地域づくりを進める必要があります。地域コミュニティの自主的な活動や、さまざまな分野で活動する団体に対して支援してまいります。

市民満足度の高いまちづくりを実現するために、職員一人ひとりの能力を最大限に引き出し、市民と同じ目線で物事を考え、市民と協働する職員の育成に努めてまいります。

さらに、弾力的かつ持続性のある健全な財政運営を行っていくために、中長期的な見通しにもとづき、「歳入に見合った歳出」の維持を図ってまいります。

以上、市政運営に対して私の基本的な考えを述べさせていただきましたが、具体的な施策の展開につきましては、今後の市政執行方針や予算、条例などでお示しさせていただきたいと存じます。

少子高齢・人口減少時代を迎え、働き手が不足し、経済が縮小する中、今までに経験したことのない厳しい自治体環境が予測されます。

今後におきましては、行政情報の共有を図りながら、事業のあれかこれかの選択をし、予算につきましても多様な調達方法を市民とともに考え行動することが必要となってまいります。

市民も、企業も、議会も、行政も一体となり、前例にとらわれることなく、積極的に新しいことにチャレンジできる、改革を恐れない「オールふらの」であらゆる局面を乗り越え、富良野市民一人ひとりが全市民のために、全市民が健康で幸せを実感できる「ふるさと富良野」の創造に向けて、着実な歩みを進めてまいります。

市議会議員の皆さま、並びに市民の皆さまの温かいご理解とご協力を心からお願い申し上げ、私の所信表明といたします。